1七年道日伊陶金

La notizia

<u>No.16</u>

2021/12/15

寄稿 歓迎します。締め切りは 毎月10日

編集部 conhkd@aig-hokkaido.com

ニコラさんは"オルガン王子"

Kitara 専属オルガニストストにインタビュー

札幌コンサートホール Kitara 専属オルガニストとしてイタリアからやってきたニコラ・プロカッチーニ Nicola Procaccini さん(26)を11月18日 Kitara に訪ね、札幌に来るまでのいきさつやオルガンとの関係などについて うかがいました。マルケ州には700ものオルガンがあり、ニコラさんはその音に囲まれて育った"オルガン王子"であることが、会員のオルガニスト大沢あすかさんのインタビュアーでわかりました。通訳は伊語教室講師のエリーザ・ペ

ッリカノさんにお願いしました。

あすか ようこそ札幌へ。私たち北海道 日伊協会の会員一同、心より歓迎します。 私も札幌でオルガンを弾いています。

ニコラ そうですか!どこで勉強した のですか?

あすか 札幌にもオルガニストの先生 がいます。大学時代は横浜でしたが、 オルガンの授業がありそこで学びまし た。

ニコラ (うなずく)

あすか それでは早速質問を。Kitara のオルガニストを志望された動機を教えていただけますか?



「学ぶ傍ら定期のコンサート」 魅力的な Kitara の契約

ニコラ 今パリの音楽学院で学んでいますが、学院が毎年、学生を一人交換留学させていて、このプログラムの条件が非常に良いのです。勉強する機会がある上に、定期的にコンサートを開催することになっています。勉強する傍らで聴衆と交わることができるなんて稀なことで魅力がありました。また、ヨーロッパからこんなに離れたところでこのような経験ができる機会はめったにありません。日本は初めてでした。

あすか 不安はなかったのですか?

ニコラ No.(ありませんでした)。 なぜって? プログラムが余りに完璧で、ただ旅して来ればよかったのです。 あすか いらしてみて、札幌の印象はいかがでしたか?

ニコラ とても緑が多い街と感じました。自然もあふれていて、光いっぱいの街ですね。山と海の間にあるあたりイタリアの面影も感じます。街が整っていることも印象的です。

ニコラ Oh Grazie! こんなに大きい会場で演奏するのは初めてですし、たくさんの聴衆がいるので頑張らなければならない、という演奏に向かうモチベーションになりました。後半部分(フランスの現代曲)の演奏は聴きやすいものではなかったので、そう言っていただけると嬉しいです。

あすか 初めて聴くような音色がありました。オルガンとホールはいかがでしたか?

ニコラ Kitara のオルガンはとても有名な製作者によるもので、特長としては大変多様な演奏ができます。多くのオルガンは歴史的な建造物に合わせる形でつくられるため制約があり、弾くことができるものが限られる傾向があります。このオルガンにはそのような制約がないのが特長です。

弾く人は、聴く人と同じ経験はできないものです。聴衆にどのように聴こえたのかわからないのが普通です。 ところが、弾いていてすべて聴こえるのです。小さい音でもはっきりと耳に届く。聴衆がいると音が変わる、 つまり一人の時に比べて響かないものと思っていたのですが、驚いたことに、それほど変わりませんでした。 あすか Kitara 見学会の説明で、聴衆がいない時もいる時も音響が変わらないように設計されていると聞いた のですが、その通りなのですね。ところで、たくさんの楽器がある中でなぜオルガンを始められたのですか?

マルケ州に 700 ものオルガン 子供のころから耳に残る音

ニコラ よくいただく質問です。自分にとってはオルガンを弾きたくなったというのはとてもロジカルなことではないか、と思われます。私の出身地のマルケ州には17~19世紀のオルガンが700以上あり、イタリアの中

でも群を抜いて多いところです。子供のころからその音は印象に残り、好きになるのです。 元々アコーディオンを弾いていました。マルケ州はアコーディオンも古くからの伝統があります。それが演奏をした初めです。

あすか アコーディオンは今も弾ける? ニコラ あー、あまり弾かないのですが、弾 けますよ。

あすか マルケ州にあるたくさんのオルガン の中で、特に好きなのは?

ニコラ それぞれ特長があり、歴史的な背景 もあり、比較するのは難しいが、特別に思っ ているオルガンはサンテルピーディオ・ア・

マーレという町にあるものです。そこのオルガンは、トン・コープマンという有名な演奏家がCDに使ったことで人気があります。1757年のオルガンです。

あすか ニコラさんが幼少期に最初に弾いたオルガンは どこのものでした?

ニコラ Questo qui. (まさにこれです)。家の近くにあったのです。

あすか ウワオ!すごいですね。チェンバロ奏者として もご活躍されていますが、オルガン曲と合わせて、好き な曲を教えていただけますか?



ニコラさん 今後の Kitara コンサート

クリスマス オルガンコンサート

12月18日(土)14時開演

チケット料金(税込み)全席指定 2000 円、小中高生500 円 オルガン ウインターコンサート 2022 年 2 月 11 日(金、祝日)15 時 30 分開演 チケット料金(税込み) 全席指定 500 円 Kitara チケットセンターで発売中。電話011-520-1234

ニコラ バッハの曲すべてです。イタリアの曲を弾くのも好きですよ。1600 年代の、特に自分の生まれたマルケ州の古い音楽を探しています。オルガン用の曲が多く残されていますがカタログ化されていないので、個々の図書館に研究者と共に訪れて、それを再生することに興味を持っています。

あすか いつかイタリアの曲を札幌で弾けたら嬉しいです。ところでイタリアは食の国ですが、日本で食べたいものはありますか。北海道にはおいしいものがありますが。イタリアの料理では何が好きですか?

ニコラ 日本のものすべてです。食べるのを楽しみにしています。イタリアの料理では、おばあちゃんの家庭料理が大好きです。特にマルケ州のカッペレッティというパスタの料理。トステリーニに似たような肉詰めのパスタなんですが、形が少し違います。また、おばあちゃんがつくるクリマフリッタというカスタードクリームを揚げたお菓子も大好きです。(地域料理なので、エリーザさんは食べたことがないそうです)

あすか 札幌では自炊だそうで大変ですが、1年間の滞在を楽しんでください。ありがとうございました。